

ご家族の方へ

- ・ペースメーカーの植込みから数か月、数年と経過しても、さまざまな理由により、本体やリード(導線)に菌が付着することがあります。
- ・患者様と一緒に定期的に傷口を観察してください。
- ・写真を撮るなど、過去の状態と比較ができるとより変化に気づきやすいです。
- ・傷口で菌が増えると体内に侵入し、徐々に症状が悪化することがあります。
- ・治療の方法については、主治医に相談してください。



監修
日本不整脈心電学会

協力
庄田 守男 東京女子医科大学病院 循環器内科 寄付部門教授
脇田 亜由美 一宮市立市民病院 臨床工学会

制作発行
株式会社フィリップス・ジャパン

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1
麻布台ヒルズ森JPタワー15階
お客様窓口 0120-556-494
03-4334-7637

受付時間 9:00～18:00(土・日・祝祭日・年末年始を除く)
www.philips.co.jp/healthcare

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくは「お客様窓口」までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V. またはその他の会社の商標または登録商標です。

ペースメーカーと 共に生きる あなたへ

知ってほしい「感染」の症状



ペースメーカーの傷口に 変化はありませんか

1.傷口を毎日観察しましょう

ペースメーカーや植込み型除細動器は、あなたの心臓の働きをサポートする大切な機器です。傷口の変化に気付くことができるよう、傷口を毎日観察してください。

2.変化に気付いたら、すぐに診察を受けましょう

本体やリード(導線)に菌がついてしまうと、すぐに適切な治療を受ける必要があります。¹症状が悪化する前に、主治医に相談してください。



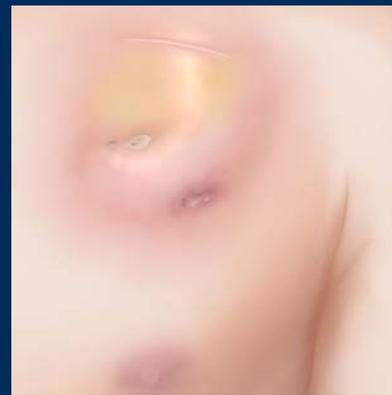
原因不明の発熱が続く
傷口が急に痛む



傷口が急に
赤くなってきた



傷口の一部が
膨らんできた



膿が出てくる



ペースメーカーが
飛び出している

*傷口の症状はイメージです。